

脳外科患者の転倒転落予防と ADL 向上に向けた取り組み ～多職種リハビリテーションカンファレンスの効果検証～

1.研究の対象

2020 年 4 月 1 日から 2023 年 3 月 31 日までの間に当院第一病棟 4 階(脳神経外科)に入院しリハビリテーションを行った方。

2.研究の目的・方法

脳外科疾患をもつ患者さんは麻痺や高次機能障害など複数の転倒転落のリスクがあり、安心・安全に入院生活を送るためには転倒転落の予防が必要になります。当病棟では脳神経外科でリハビリテーションを行っている患者さんを対象に、医師、理学療法士、作業療法士、メディカルソーシャルワーカー、看護師を参加者とした脳神経外科多職種リハビリテーションカンファレンスを行っています。疾患による症状や ADL の状態を多職種で共有し患者さんへの理解を深めることで ADL を向上させるとともに転倒転落を予防することを目的としています。

多職種リハビリテーションカンファレンスが転倒転落予防にどのような効果があったかを検討し、今後転倒転落の件数を減少させることができるよう参考資料とさせていただきたいと考えています。

研究期間：研究実施許可日～令和 6 年 11 月 30 日

ADL・・・日常生活を送るために必要な生活動作のことです。

3.研究に用いる試料・情報の種類

電子カルテからの情報をもとに、性別、疾患名、年齢、身長、体重、転倒歴、入院期間中の転倒の有無、転倒転落への対処方法、安静度、在院日数、リハビリテーション実施内容、mRS 等のデータを用いて解析いたします。

情報収集の際には個人が直ちに特定される氏名や生年月日が含まれない状態でデータを取り扱い、解析で用いる情報は統計的に処理し個人が特定されないように致します。

mRS・・・運動機能に障害をきたす疾患の重症度を測るための評価指標です。

4.お問い合わせ先

本研究に関するご質問等ありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申し出ください。

また、資料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒010-8543 秋田市広面字蓮沼 44-2

秋田大学医学部附属病院 第一病棟 4 階

TEL：018-884-6333

担当者：佐々木将(研究責任者)・佐々木聖子・菅野光洋・三森柚葵（第一病棟 4 階所属 看護師）

利用又は提供を開始する予定日：令和 5 年 10 月 18 日